



子供と向き合える時間を

七飯町立七重小学校長 本多宏至

「校長先生、これ見て!」「今日の陸上の練習、見に来てください!」「(水泳で)飛び込みできるようになった!」・・・玄関前で出会う子供たちからの声、カブトムシの話をしてくれた子もありました。子育ての難しい時代と感じますが、七重小の子供たちの感性はキラキラと輝いています。その感性が爆発する場面の一つが学習発表会(学年ごと11月に実施)でしょうか。6年生は修学旅行(学習発表会は2月)が目前です。一人一人大切な時間を過ごしてほしいと思っています。

さて、子供にとって「わかる・できる」ということは、大変大きな出来事です。でも、練習や準備でうまくいかない思いをもったまま家に帰ることもあるかもしれません。近所の公園や空き地で遊んでいて、自分の思いを相手に伝えきれないまま家に帰ることもあるかもしれません。先月号には「子供って、忙しい時に限って寄ってきます。」と書きましたが、そのような時に以下の言葉は、子供の健やかな成長のためにとても大切なことを教えているように思いましたので、参考になったらいいなと思い、ご紹介いたします。

- ☆けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
- ☆とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
- ☆不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
- ☆「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
- ☆子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
- ☆親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
- ☆叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- ☆励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
- ☆広い心で接すれば、キレる子にはならない
- ☆誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- ☆愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
- ☆認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
- ☆見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
- ☆分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
- ☆親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
- ☆子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
- ☆やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
- ☆守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
- ☆和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドロシー・ロー・ノルト 『子どもが育つ魔法の言葉』より

ところで、「その子を見れば、その子の親がどのような親なのか」が、それなりに分かれると聞くことがあります。「その子を見れば、その子の**学校がどのような学校なのか**」が分かれると読み替えてみると、職責を踏まえ、やはり襟を正さなければならないと感じます。

新型コロナウイルス感染の完全終息は、まだのようですが、新しい時代の息吹を感じながら子供と向き合える時間を充実させ、健やかな成長のために魔法の言葉をかけていきたいものですね。